

11 セクハラ被害をなくすには (女性)

(ナレーター) 皆さん、いかがお過ごしですか。福岡市がお送りする「こころのオルゴール」の時間です。

5

セクシュアルハラスメントや性暴力に対して、ツイッターなどSNSで告発する「MeToo (ミートゥー)」運動が、世界中で広がっています。

10 日本でセクハラという言葉が知られるようになったのは、約30年前。今回は、そのきっかけをつくった晴野(はるの)まゆみさんへの取材をもとにお伝えします。

15 晴野さんは、平成元年、職場で性的嫌がらせを受けた上に退職を強要されたとして、全国で初めて「セクシュアルハラスメント」を争点とした裁判を起こし、全面的に勝訴しました。セクハラの本底にあるのは「性差別」であると認められた決でした。

20 当時と比べて、セクハラに対する社会の認識は変わりましたか。

20

【晴野さん役】かつては、セクハラそのものが理解されていませんでした。セクハラとは何か、という認識は以前より高まり、「MeToo運動」のように、声を上げることへの抵抗感は小さくなったと思います。

25

(ナレーター) 国の調査では、働く女性の3割がセクハラ被害を経験していますし、セクハラによる人権侵害の相談や被害申告は増えているようです。

30

【晴野さん役】セクハラを規制する法律などは以前より整ってきています。男女雇用機会均等法では、事業主にセクハラ防止の配慮義務があると規定されました。しかし、根底にある女性への見方は変わっていないように感じています。

35

(ナレーター) どういうことでしょうか。

【晴野さん役】女性が被害を訴えても「隙があつたからだ」とか「その気にさせたんだろう」という非難は常に生じます。そういう被害者叩きの構図は、むしろ過激になっています。インターネット上では匿名の傘に隠れて、被害者に対するバッシングや誹謗中傷が行われることがあります。セクハラ被害だけでなく、被害者が嫌がらせを受けたり、責められたりする「セカンドハラスメント」も問題です。

40

45 (ナレーター) セクハラをなくしていくには何が必要でしょうか。

【晴野さん役】被害者への不当な攻撃や差別を許さず、我慢してきた被害者たちが声を上げやすい社会にすること。そして、声を上げた被害者の人権や尊厳を守ることが必要だと思います。

50